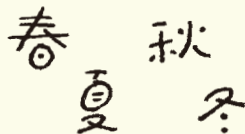


さあ、葉めぐり虫さつぽに出かけよう！

① この本の季節のページを読んでみよう

この本では春・夏・秋・冬に分けて植物と虫を紹介しています。探す季節に合った植物と虫の名前と、その特徴をひとつ覚えてから出かけると目標になります。



③ 公園に行ってみよう

次は植物の多そうな公園に行ってみましょう。木の名前を書いた「樹銘板」がある公園だとよいですね。コナラやエノキ、ミズキ、ムラサキシキブなどの葉では、この本でも紹介している虫がたくさん見つかります。



② 近所をさんぽしてみよう

まずは晴れた日に近所を歩いて、道ばたの草花に目を向けてみましょう。シチヘンゲの花にチョウがいたらラッキー！街なかのツククサやクズの葉でも、虫は見つかります。クワやアカメガシワやカラムシも、意外な場所からニョキッと生えています。庭木に多いクチナシやカラタチも要チェックです。



④ 街路樹を見てもみよう

街路樹は名前がついているものが多く、幹や葉が観察しやすいです。ここでも花や虫食いの葉を探します。ソメイヨシノの葉を食べるイモムシや、プラタナスの樹皮裏にひそむグンバイムシが見つかります。



⑤ 植栽や垣根を気にしてみよう

道路脇や緑道に植えられたツツジやアジサイは、背が低く刈り込まれているので、春から秋にかけていろいろな虫が見つかります。かわいいうハエトリグモも常連です。春のヒイラギモクセイや秋のマサキの垣根では、ちよつと面白い虫が見つかります。



⑥ 野原でしゃがんでみよう

明るい草地や農地の周りでは、春一番にギシギシやヤハズノエンドウで虫が見つかります。夏から秋にはススキやセイタカアワダチソウも虫のレストランになります。



⑦ つる性植物は大事

フェンスや他の植物を覆うように伸びたカラスウリやヤブカラシ、ヘクソカズラも虫観察の大事なポイントです。歩きながらじっくり観察してみましょう。



持ち物

- | | | |
|-------|---|---|
| おさんぽ時 | <ul style="list-style-type: none"> 歩きやすい靴 ひざをついてもよい服装 カメラ or スマホ スマホ用クリップ型のマクロレンズ | <ul style="list-style-type: none"> 虫めがね 虫避けスプレー ファスナーつき保存袋 |
|-------|---|---|

ガチのとき

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 長靴 汚れてもよい服装 長袖・長ズボン 帽子 手ぬぐい ウェットティッシュ カメラ① (接写ができるもの) | <ul style="list-style-type: none"> カメラ② (環境が写せるもの) 伸縮式の捕虫網 遠沈管 (採集した虫を入れる) ファスナーつき保存袋 (葉や種子を入れる) 虫めがね ピンセット | <ul style="list-style-type: none"> ゴムグローブ 小さいシャベル 虫避けスプレー ヒル避け ハンディライト (葉裏を照らす) |
|---|---|--|

身近な虫の人気店・ハルジオン

このお話の
主役たち

植物 ハルジオン：キク科の多年草。北アメリカ原産。
虫 ヒゲトハナムグリ：コウチュウ目コガネムシ科の昆虫。
本州、四国に分布。



咲く直前まで
つぼみは
下を向く

花びらは
糸状
幅が狭い

花びらは
幅が広い

ハルジオンは3〜6月くらいに道ばたや草地で、白やピンクの花を咲かせるキク科の雑草です。響きがいいのか、歌謡曲のタイトルに使われたりします。

北アメリカ原産で、1920年代にもち込まれた外来種です。農業に対して耐性をもち、根から他の植物の生長を抑える化学物質を放出することも知られています(アレロパシー作用)。

私が小さい頃は「びんぼう草」と呼んでいて、親指でつぼみを弾いて飛ばし合い、当たった人が貧乏になるという遊びをしていました。だから今、お金がないんですね……。

ハルジオンに似た植物に「ヒメジョオン」があります。ヒメジョオンは、糸状の花びらをもつハルジオンの花に比べて、花びらの幅が太いのが特徴です。ハルジオンよりひと月くらい遅れて開花し、秋まで花をつけます。2種とも、道ばたから空き地まであらゆる環境で



日が出る
と
いつせいに
チョウが
訪れます

昼行性の
ガも
訪れます

吸蜜中は
シャッター
チャンス

花を咲かせ、虫たちが集まる蜜源植物になっています。

ハルジオンは円盤状の上向きの花をたくさん咲かせるため、チョウや昼行性のガの仲間を集めます。一方、チョウ類は脚が長いので、雄しべや雌しべに触れずに蜜を吸うことができます。そのため、ハルジオンのような平たい花の受粉にはあまり役に立たないようです。

アオスジアゲハ

春

身近な虫の人気店・ハルジオン

おじやまします
緑の虫アパート

クズの葉を端から
中央に向かって
食べ進める

死んだふり
をしてすぐ
落ちる

クズの葉裏に多い
汁を吸った痕が
白斑として残る

クズやハギなどの
マメ科植物の葉を
ギザギザに食べる

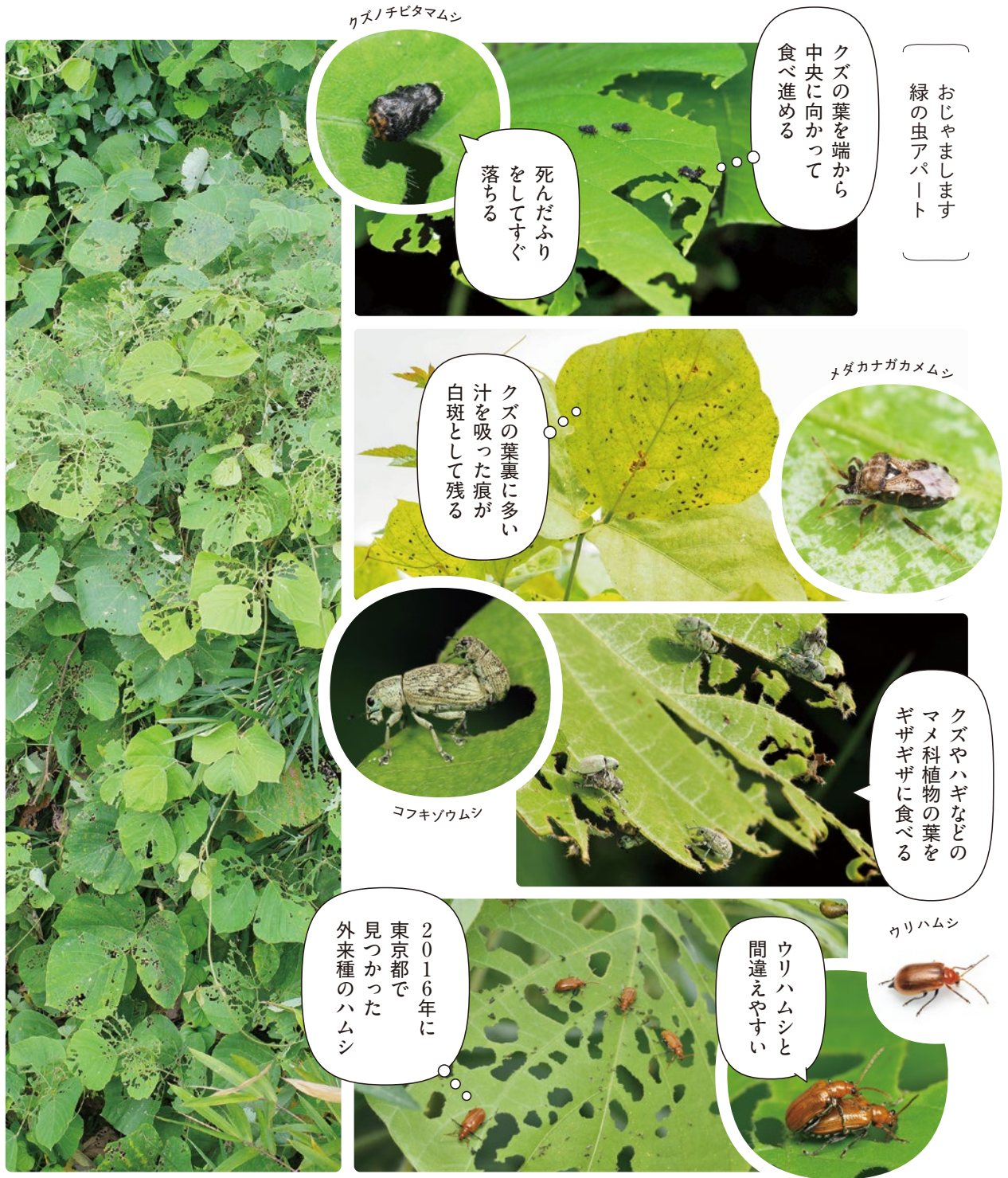
ウリハムシと
間違えやすい

2016年に
東京都で
見つけた
外来種のハムシ

さて、ここからは、春か
ら秋までのクズに集まる虫
を一挙公開します。

クズは繁殖力が強く、日
なたでも半日陰でも成長し
ます。また葉が大きいので、
いろいろな虫の隠れ家兼食
草になります。それぞれの
虫によって葉の食べ方、汁
の吸い方が違うので、観察
に慣れてくると、遠くから
でも何の虫がいるかわかる
ようになります。

なお、マルカメムシは洗
濯物などに飛来して屋内に
入ることがあるので、クズ
の近くにお住まいの方はよ
くチェックしてください。



クズノチビタマムシ

メダカナガカメムシ

コフキゾウムシ

ウリハムシ

クズクビボソハムシ

ツチイナゴ (幼虫)

ツチイナゴ

ムネアカオオクロテントウ

マルカメムシ幼虫を
食べる外来種

秋

クズは緑の虫アパート

ホシハラビロヘリカメムシ

ベッコウハゴロモ

いろいろな
植物に
つきます

匂いが
強い

マルカメムシ

シロコブゾウムシ

アオドウガネ

トビイロスズメ (幼虫)

近年分布
拡大中です



これは



ひよっとして



うわー！

ウラギンシジミ (幼虫)



アズチグモ (♀)

花で待ち伏せします



アミメアリに甘露を与えるウラナミシジミの幼虫



ウラナミシジミ (成虫)

いたり、シジミチヨウの幼虫がアミメアリに甘露を与えていたり、小さなドラマがあります。ある日、探していた虫に出会いました。花穂の先端から3分の1くらい所に、花の色をした一匹のイモムシがいます。これはウラギンシジミの幼虫です。成虫は花穂の先端に卵を産み、生まれた幼虫は花に擬態してつぼみや花を食べ、葉にたどり着く頃には緑色になります。難易度は高いですが、見つかるとうごくうれしい虫です。ウラギンシジミは、マメ科のクズやフジを食草とするチヨウです。翅の裏側は銀白色で、表側は、♂はオレンジ色、♀は水色の模様があります。



ウラギンシジミ (成虫・♂)



クズの花穂

クズは夏から秋にかけて、葉の陰でひっそりと花穂を立てて花を咲かせます。花は下から徐々に開いて散っていきます。甘い香りに誘われて、たくさんのハチやアリ、ハエがやってきます。そんな虫を捕らえようとアズチグモが隠れて